

真駒内公園小学校及び真駒内桜山小学校に勤務する教員への調査（参考）

質問 1 統合校として開校してから 1 年が経とうとしていますが、旧真駒内 4 小学校当時や開校当初と比べ、児童の様子がどのように変わったかを確認させていただきたいと思います。

「例」のような観点から良い点、課題と思われる点をお答えください。

例：統合校への慣れ、友人関係、授業や行事での態度など

※ 以下に代表的な意見をまとめました。

分類	内容
友人関係・生活面について	・当初、校舎や通学路の違いなどに不安を感じていたが、短期間で慣れていった。 ・友人関係が広がり、行動範囲の広がった児童が多く見られる。みんな楽しそうに登校している。 ・友人関係が広がった子が多いが、新しく友人を作るのが苦手な子の中には、あまり変化が見られない子もいる。 ・特別支援学級では、1 年間かけて交流を続けて統合を迎えたので、児童の引き継ぎや実態把握は十分にできた。 ・環境の変化に対応するのが難しい数名の児童は、教室に入ることのためらう場面が見られたが、個別の対応を 1～2 学期に継続して行うことで、現在は、落ちついて教室で過ごすことができている。 ・統合前は、クラス替えも無く、大きな安心感の中で過ごしてきた子ども達だったので、校舎が変わり、人数も倍以上になることに不安を抱いていたが、現在は、互いに壁を作ることなく、関わり合っている。集団が変わることで生まれるトラブルなども確かにあるが、ごく自然なことで捉えている。子どもにも、保護者にもそれを上回る良さや成果を感じてもらうことが責任であり、課題である。 ・統合校への慣れは、学年が下がれば下がるほど早かった。高学年の児童は半年ぐらい落ち着かず、特に校舎が変わった児童は戸惑いが多かったように思う。 ・6 年生は、新しい学校にかなり不安を抱いていたが、様々な行事を通して友人関係が広がったり、深まったりしてきた。「今は不安が無くなって毎日が楽しい」と子ども達が言うようになった。 ・高学年特有だと思うが、「だいたいわかっている」という安心感が統合によって一気に減ったため、挨拶など、自分に自信も持って行動できない場面が増えた。また、友達が増えてうれしい反面、その人の特質がつかめず、表面的な関わりが多くなり、「良い人に思われたい」、「嫌われたくない」という意識が強かった。1 年が経ち、落ちついたように見えるが、まだまだ時間がかかると思う。

学習面について	・様々な行事に活気が増し、子ども達がより意欲的に取り組むようになった。 ・行事に関しては、子ども達も積極的で、これまでの経験と知恵と創造力をフルに生かしたものとなったように感じる。 ・授業や行事の態度も最初は差を感じたりもしたが、次第に慣れている感じがしてきた。 ・授業や学級経営上では、相互に良さを学び合うことができた。 ・児童数が増えたことで、行事等で1つのものを創り上げていく大変さ、子ども1人1人を活かしていく難しさがある。 ・行事等においても、子ども達から「〇〇小では…」という言葉が口ぐせのようになっていた。 ・人数が多いためか、集中するまでに時間がかかったり、行事に向かう廊下歩行が雑然としたりしている。 ・学習に関して言えば、より多くの人数で学ぶことにより、良い刺激がある反面、行事では、人数の多さが足かせになっている面もある。
指導・学校運営等について	・人数が増えたので、当然対応すべき指導事項は多くなった。 ・通学距離や友達の家までの遠さについては、低学年は特に不便に感じている様子。 ・通学距離が一番遠い場所から通学する子の中には、高学年の荷物の多さに負担を感じている様子が見られる。 ・統合して空き教室等が無くなり、体育館を使えない時など、廊下を走る子が増えることがあった。

質問2 新設校として、開校当初から様々な負担があったことと思いますが、具体的にどのような負担や課題があり、それにどのように対応したかを確認させていただきたいと思います。「例」のような観点から、課題と思われる点、また課題に対する対応方法などをお答えください。

例：開校にあたっての事務負担、新設校としての意識付け、保護者対応、地域との連携、通学安全の指導など

※ 以下に代表的な意見をまとめました。

分類	内容
事務負担について	・閉校作業と開校準備を同時並行で行わなければならず大変だった。2校の図書館の本を1つにまとめる作業や備品点検、教材のラベル交換、文書整理、校内片づけ等、事務負担は多い。もう少し人手が必要だと思う。 ・事務職員は1人なので、教員よりも負担は大きかったと思う。 ・閉校から開校、すぐに新学期、そして夏休みの工事等、余裕が無く、開校から1年を迎え、廃棄、文書整理等遅れて整理しているところ。 ・母体校のデータに頼りがちであったが、新設校の方針に基づいて、データをいから作り出すことが大切だと思った。 ・新しい学校を作るので、それなりに大変なことはあるが、大きな負担にはなっていない。 ・ひとつひとつ作っていく大変さはあったが、全職員、自分達が学校を創っているという誇りと意欲を持って進めることができた。他校と比べて負担はあったと思うが、喜びも大きかった。 ・全てをゼロから作り上げる苦労はあったが、職員の連携で乗り越えることができた。
新設校としての意識付け	・両校の運営を参考にしつつ、新しい学校を作る意識付けが、事前に職員や児童になされており、業務や指導にあたりやすかった。 ・保護者も教員も新設校というよりも、統合した学校という意識が強かったように感じる。 ・統合以前の考え方が保護者には根強く、「前の学校では～」、「去年は～」という言葉を使って、今までのことと比較する傾向にあった。両校の良さを取り入れているものの、新しい学校ということをいかに印象づけていくかが課題。 ・保護者の方へ新設校の良さをお伝えする難しさがあった。 ・児童にとっての統合の利点が、保護者や児童に見えなかったため、好意的に受けとめてもらえないところが一番辛かった。全てに批判的な意見からスタートしているため、理解してもらえない点が多かった。
通学安全の指導について	・新たな通学路を定着させることが課題だった。通常新学期から1週間程度教職員が登校を見守る形が多いが、その後も危険箇所なども見守りや通学路の確認を行った。 ・通学路が新しくなり、今までと違う方向から登校してくる児童は、慣れるまで登下校の道が定まらなかったり、危険な場面が見られた。 ・交通指導員さんの立つ位置や、PTAによるボランティアの場所設定等、実際に児童が登下校しないと見えない部分があった。 ・校区が広がったため、集団下校や巡視、児童への通学安全指導の徹底が大変になった。 ・集団下校や校外学習でも横断歩道のない所を通らねばならない。家庭によっては、遠回りして登下校させている場合もあり統一されていない。

その他学校運営等について	・2校の学校生活のきまりなどのすり合わせを行った。「新しい学校を作る」という視点できまりなどを作った。どちらかの学校に偏らないことは良かったと思う。 ・全ていちから話し合うことが多く無駄もあった。母体校のシステム、文書、計画などをもっと生かせば、無駄のない学校運営になったと思う。 ・些細な点をいちから決めていくのは難しいことだった。母体校の良い取組は残すと良いと感じた。それぞれの良い点を合わせれば、良い学校ができるのではないかな。 ・いちから作り上げるということで、話し合いがどうしても多くなりがちだったが、最初から想定していたこともあり、効率的な運営を心がけていたので、特に問題は感じられなかった。 ・細かい約束事を共通理解しながら確認できたため、課題がむしろ改善につながる良い機会となった。 ・ぎりぎりになって、他の学校では気にならないような細かい点に気付き、十分に協議できないまま取組を行ったことがあった。1人の目ではなく、複数の目でチェックし、見通しを持っていくことが大切だと感じた。 ・管理職、教務主任が一方の母体校に偏っているため、人数のバランスについてもより配慮するとよいのではないかな。 ・建物に余裕がなく、活動場所をやり繰りするのに余計な時間がかかった。 ・施設が子どもの数に合っていないと思う。統合して施設面が良くなったと感じられるところは少ない。施設については、保護者も児童も統合して良かったと思えていないと思う。 ・学びのサポーターがもっと入ってくれるとうれしい。 ・既存の校舎を活用するような統合においては、統合前後で業務量が多いため、事務職員は変えない方がいいと思う。
---------------------	--

質問3 その他、学校規模適正化推進事業でご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

※ 以下に代表的な意見をまとめました。

分類	内容
良い点	・忙しい中でも周りに支えられ、楽しく明るい雰囲気の仕事ができており、特に大きな問題はない。 ・大変なことが多いが、統合作業を通して色々なことを学ばせていただいた。 ・子どもの数が多い方が活気が出るので、さらに統合を進めていくと良いと思う。 ・統合前年度に、互いの学校に行き来するなどして交流を行った。今思うと、その交流が、子ども達の不安を取り除くためには大きな意味があったと思う。時間の許す範囲で、ぜひ行おうべきだと思う。 ・地域、保護者の協力を得て、とてもスムーズにここまで進めることができた。学校作りも、ひとつひとつ必要となることから取り組んだことで、大きな負担とはならず、教職員が1つになって進めることができた。2年目、3年目とステップを踏むことで、気持ちにも余裕が生まれ、それが子ども達の不安を取り除くことにもつながると思う。
改善すべき点等	・統合により、事務負担、安全管理の面で、人員の不足が無いよう、配慮していただきたい。 ・統合によって、学級数が増えず、1クラス当たりの児童数のみが増えた学年がある。子どもの友人関係が広がったことは良かったが、学習指導や生活指導ではどうしても手薄になってしまうため、TT等の充実を図り、フォローをきちんとしていく必要がある。 ・統合に向けて1年間学年ごとに交流を行ってきたが、1年では足りなかったように思う。もう少し時間をかけて閉校や開校の準備ができると良かった。 ・統合したことで、空き教室が無く、学習面、学習発表会の練習等、学年で集まったの活動に不便を感じる。何かしらの対応をお願いしたい。 ・保護者からも統合はまだ早かったのではないかという声をいただいている。児童数も考慮して統合時期を決める必要がある。 ・統合前に通学路を確認し、横断歩道の無いところは設置するよう働きかけてほしい。